

緊急注意喚起情報

米づくり技術情報 No.18

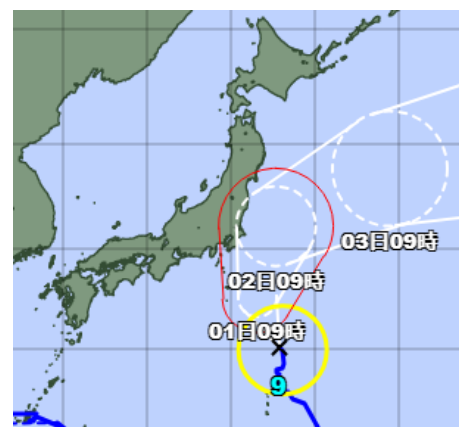
令和7年7月31日

台風第9号が接近！フェーン現象に注意！ 出穂した圃場は白穂発生の大危険！水管理の徹底を！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

台風第9号は7月31日現在、日本の東側に位置しており、北西の方向にゆっくり進んでいます（右図）。山形地方気象台によると、今後の台風の動きによっては、これから8月2日にかけてフェーン現象による高温と乾燥が続く恐れがあります。

フェーン現象が発生した場合、稲体から水分が急激に蒸散し、消耗が大きくなります。特に、出穂して間もない「はえぬき」「雪若丸」などは、白穂となる危険性が非常に大きくなります。



台風第9号の予想経路図
(気象庁 7月31日12時現在)

当面の技術対策

- フェーン現象に備え、**速やかに湛水し、稲を高温と乾燥から守りましょう。**なお、用水が十分に確保できない場合は、**飽水管理を行いましょう。**

<用水の有効利用>

地域全体に用水が行き渡るよう、「番水」や「用水の循環利用」などの対策を検討しましょう。また、こまめに圃場の見回りを行って、畦畔や水尻から漏水していないかよく確認し、圃場に水が行き渡ったら速やかに水口を止め、用水の有効利用に努めましょう。



白穂

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう！

